



## ① 手文庫

日本文学・外国文学の文庫を中心に扱う「手文庫」。手づくりの雑貨も置いており、「文庫」と「手づくり」を合わせたのが店名の由来だそう。抜け道のような路地の傍らにある小さなお店で、店内はこじんまりとした雰囲気だが清潔感があり、ゆっくりと過ごすことができる。メインの本棚には、岩波文庫をはじめとした文庫本がずらりと並んでおり、他には文芸書、趣味の本、絵本、ポストカードなどを揃えている。

03-5577-4102  
千代田区神田神保町 3-11-1 安田神保町マンション101



## ② イタリア書房

日本で最初にイタリアの本を輸入し始めた書店。イタリア語の書籍が品揃えの半分を占め、残りがスペイン語とポルトガル語関連の書籍。ビジュアルブックもあれば、読み物の古書もある。自国の本を読みたいとやってくる外国人が多い。また、イタリア語の先生が教材として絵本を買って行ったり、毎朝ポルトガルの新聞を買いに来るシェフがいたり。品揃えの中でも、ビジュアルが凝っていて見応えがあるのが料理本。書籍以外にもバッグや小物などバラエティ豊かな品々が並んだ店内は、イタリアカラーを基調としたディスプレイでとても華やかだ。

03-3262-1656  
千代田区神田神保町2-23



## ③ 小川図書

英文学、英文学史、辞書などを扱う洋古書専門店。来店時は事前の予約が必要。1970年代以前の洋雑誌の在庫が豊富で、ファッション誌は年代別、時事誌は各年、といったくあいにジャンルごとに異なる分類がされている。文学の品揃えは全集・演劇・評論・詩学などと幅広く、欧米の児童文学や絵本も数多く並んでいる。そして欧米文献を読むのにかかせない辞書は、17世紀の初頭から現代のものまで揃う充実ぶり。

03-3262-0908  
千代田区神田神保町2-7



## ④ 北沢書店

靖国通りにそびえるヨーロッパ風建築の重厚な店構えが目を引く。1階の「こどもの本専門店ブックハウスカフェ」から螺旋階段を上がると、2階が「北沢書店」だ。明治35年(1902)の創業時は、大学図書館や研究室への納本が中心だったが、昭和30年に洋書専門店となる。英米文学を中心に、人文科学系の洋古書を販売。常時12,000冊の在庫を店内に並べる。ペーパーバックから、レアな稀覯書(きこうしょ)まで幅広く扱う。

03-3263-0011  
千代田区神田神保町2-5 北沢ビル2F



## ⑤ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563  
千代田区神田神保町1-7



## ⑥ 内山書店

歴史ある中国専門書店。取り扱っているのは、日本で出版された中国関係の書籍、DVD、CDなどが約4割。残りの6割は、中国・香港・台湾などから輸入された書籍、雑貨など。ジャンルは問わずあらゆるものを扱い、新刊がメイン。人気があるのは中国語を勉強する人のための教材。ここには中国の子供たちが実際に使っている教科書や参考書なども揃っている。研究者や学生委よりも、ビジネスマンやカルチャーセンターで中国語を習っている人が本を探しに来ることが多い。専門店ならではのと思わせるのは、中国の地方都市の地図も揃っていることだ。

03-3294-0671  
千代田区神田神保町1-15



## ⑦ 南洋堂書店

昭和初期創業の「南洋堂書店」は、戦後、建築分野に特化。現在、数少ない建築関連書籍の専門店として国内外に知られる。新刊、古書、洋書を幅広く扱い、国内雑誌のバックナンバーも充実。建物は平成19年に1・2階を改装(設計:菊地宏)、3・4階にギャラリーを併設(設計:田井幹夫)。道路沿いの全面ガラスには建築家やイラストレーターによるウィンドーギャラリーを展開、道行く人の目を楽しませる。ギャラリーでは「東京の微地形模型」を常設展示。毎土曜には模型にさまざまなコンテンツを動画で投影する。

03-3291-1338  
千代田区神田神保町1-21



## ⑧ 崇文荘書店

洋古書の専門店。1階には哲学、経済など社会科学系の学術書。利用者の8割は研究者という。2階には初版本、限定本などの稀覯本・絵本など。装丁が美しい貴重本、重厚な装本が並ぶ。17世紀から19世紀、20世紀初頭のものも多く、欧米の歴史ある古書店が図書館の中にもいるかのようで表の喧騒を忘れてしまう。なお店頭には数百円の絵本や1000円ほどのビジュアル書もある。絵本はイギリスやアメリカへ出かけて仕入れたものが中心。分野ごとに毎年美麗なカタログを発行しており、探求書を登録すれば国内のみならず海外でも探してくれる。

03-3292-7877  
千代田区神田小川町3-3



## ⑨ 愛書館 中川書房

平成24(2012)年にオープンした、古書全般を扱う「愛書館 中川書房」。靖国通りから1本入った路地裏、文華堂書店の隣に店舗を構える。買取りによる仕入れが多いため、いつ何が入荷するかはその時々のお楽しみ。全集・歴史・宗教・哲学などの専門書、美術・建築・写真など趣味の本、和本・版画などの古典籍、岩波文庫・講談社学術文庫・ちくま文庫などの学術系を中心とした文庫本など、幅広く取り扱っている。

03-6272-8998  
千代田区神田神保町2-3-11



## ⑩ 燎原書店

日中国交回復以前の、1971(昭和46)年の創業時からずっと中国関係書籍一本で続けている。書棚を構成するのは中国からの輸入書と漢方書との2本柱。中国からの輸入書は、現代に発行された、古い時代を描いたものが中心。中国関係の本と一口で言っても、文学、哲学、考古学、歴史、伝記、地図帳、辞書と、分野は多岐にわたる。さらに文学の中でも、唐詩や漢詩など古典文学や戯曲の扱いが多い。歴史書は明、秦、漢、隋、唐時代ごとに陳列されている。専門的な書物ばかりが棚を埋めているため、客層は中国医学の専門家や大学教授がほとんどだ。

03-6272-6145  
千代田区神田神保町3-2-9 塚本ビル2F



## ⑪ みわ書房

「みわ書房」は、「親子で来られる古本屋」がモットーの児童書専門店。子ども向け絵本と読み物、大人向け児童文学評論、絶版の古書を扱う。子供向けの読み物は、内外を問わず、古典から現代文学までカバーする充実ぶりが店の柱。これが書棚の半分以上を占める。『世界名作選』『日本児童文庫』シリーズなど、戦前に出版された貴重な名著も手頃な価格設定。装丁も美しく、美術関係者で買い求める人も多い。「今は浦島太郎もアニメになるけど、やっぱり日本の古典文学や民話は日本人らしい挿絵の絵本で読んでほしいですね」(店主)

03-3261-2348  
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5F



## ⑫ 大雲堂書店

古書全般を扱い、各ジャンルの良書を手出ししやすい価格で販売している。武道書、漢詩や漢文、東洋医学などの専門書や学術書から、文学全集や宗教に関する本、囲碁や将棋など趣味の本など品揃えは多種多様。入口付近には様々な言語の辞典・事典類などが並び、英語・独語・仏語はもちろんルーマニア語や、『医学英語文例辞典』(朝倉書店、昭和58年)や『新約聖書ギリシア語辞典』(キリスト教新聞社、昭和53年)など専門的な辞典も揃う。老舗だが、間口が広く入りやすい雰囲気、地下鉄・神保町駅から近く、古書店めぐりの起点ともなる。

03-3294-0616  
千代田区神田神保町1-9

